

(1) 2023年10月から開始予定とされている「消費税インボイス制度」をご存知ですか？

インボイス制度の影響を受ける事業者は法人・個人合わせて1000万者以上とされていますが、いまだに制度を知らない人が多くいます。そして、直接的な当事者となってしまいう年間売上1000万円以下のフリーランスや個人事業主、一人親方といった小規模事業者の多くは、組織や組合といった後ろ盾を持たない、それぞれが自立した存在です。ゆえにその声は小さく、メディアや国に届きにくい現状があります。

インボイス制度施行まで半年を切った現時点でも、大手メディアではほとんど報道されず、周知がなされていない現状を、わたしたちは非常に憂慮しています。

(2) インボイス制度は、税率の変わらない消費税増税です。

インボイス制度が始まると、フリーランスや個人事業主、一人親方といった小規模事業者は、「インボイス制度に登録をして課税事業者になる」のか「免税事業者のままでいる」のかの2択を迫られます。しかしどちらを選んでも、今よりも損をしてしまう可能性が高いのです。

どちらの選択も小規模事業者にとっては**死活問題**。人によっては生活が立ち行かなくなってしまう可能性もあります。また、フリーランスとの取引が多い業界や、高齢者の働く場や生きがいを提供するシルバー人材センターなども大きな影響を受けます。

本来、消費税の免税点制度により支払う必要のなかった消費税を、インボイス制度のために「仕事を outsourc する側の事業者」か「仕事を受ける側の事業者」、または消費者の誰かが負担する選択を迫られ、今まで手を取り合ってきた仕事仲間やお客さまとの間で「税の押し付け合い」をしなければいけない局面に立たされます。

**(3) インボイス制度は様々な問題点をはらんでいます。**

インボイス制度の問題点・悪影響は立場によっても様々ですが、主に言われているものは以下の通りです。

- 1) 消費税法の事業者免税点制度（年間売上1000万円以下の事業者は消費税を納める義務を免除）は残した状態で実質的に無効化してしまう。
- 2) インボイス発行事業者の登録をすることで、年間売上1000万円以下の事業者であっても、強制的に課税事業者となってしまう。（結果、事業者によっては約1ヶ月分の所得に相当する納税負担が増える。）
- 3) 制度が足かせとなって、各業界・業種でこれからチャレンジしようとする若手や新しい芽を、潰してしまう、新人が育つ土壌を失ってしまう可能性がある。
- 4) 商取引ごと、または経理の処理のたびに、登録番号の確認や管理など、事務負担・業務負担が増大してしまう。
- 5) 本人の技術やスキルなど関係なく、インボイス発行事業者への登録の如何によって、商取引から排除されたり、消費税分の値引きを迫られてしまう可能性がある。（結果、廃業を余儀なくされる可能性もある。）
- 6) 登録した番号が国税庁のサイトから全件ダウンロードでき、それが商用利用できてしまう。個人情報にはマスクされているものの、プログラミングを多少知っている人ならすぐにスクレイピングできてしまう問題は放置されたまま（2023年5月19日現在）。
- 7) 実質、消費税の増税のため、コロナ不況、物価高の中、さらなる消費の冷え込みを呼ぶことが懸念される。
- 8) 「利便性が高まる」「事務作業が楽になる」といった、この制度によって享受できるメリットが希薄。
- 9) すでに、「インボイスに対応できない」等の理由から廃業を決めた事業者や一人親方も出てきている。

(4) インボイスをめぐる問題が起きている具体的事例

インボイスの導入は今年の10月1日からですが、さまざまな業界ですでに問題が起き始めています。

【ケース① 「免税事業者と取引をしない選択もある」と言われたケース】

道の駅などへの農産物の出荷が主な収入源となっている山梨県北杜市の農家。道の駅を管理している指定管理者から「4月からインボイス登録番号がない農家は出荷ができなくなる」との説明が口頭であった。「免税事業者を排除しないで取引を続けてもらう方法を探ってもらえないか」と伝えると、「**そんなことを言う生産者とは取引をしないという選択もある**」と言われた。(2023年2月3日【権利団体・農家・個人情報問題編】 インボイス 問題検討・超党派議員連盟によるヒアリング)

【ケース② 免税事業者の消費税を負担する意向だが、年間30万円の負担増となるケース】

農家から直接野菜を仕入れて販売している八百屋。自分の手取りは手取り15万円台でやっているが**経理を切りつめても営業利益は赤字**。取引のある農家80件のうち、課税事業者は8件程度。農家さんも高齢化が進んでおり、電話やFAXでの注文が主流。「経理のDX化や事務負担が増えるインボイス登録は考えられない」との相談をすでに受けている。少なくとも向こう3年間はこちら側が消費税を負担しようと思っているが、**年間30万円程度負担が増えるが、うちに販売を依存している農家もいるので辞めたくても辞められない**。(2月13日「18万達成! STOP! インボイス 業界横断記者会見」)

【ケース③ 委託先から「登録しないと報酬を減額する」と一方的に通告されたケース】

ヨガとピラティスの講師。フィットネスクラブやヨガスタジオと業務委託契約を結んでいるが、同じクラブで1日1~2クラスしか与えられないため、1日複数のクラブ・スタジオを掛け持ちしながら働いている。契約先の一部から**「インボイス登録をするかしないかも決めてください。登録しない場合は(報酬を)減額します」**と言われている。年収100万円もない上に減額されるとさらに収入が激減する。クラブやスタジオを移動する手間や時間は変わらないので、もう働けない。(2月13日「18万達成! STOP! インボイス 業界横断記者会見」)

【ケース④ タクシー組合から、チケット事業からの排除やあんどんの変更など不利益を迫られたケース】

都内の個人タクシー運転手。個タク組合が消費税のインボイス制度で免税事業者にインボイス登録を要請し、登録しない場合は、**①チケット事業からの排除②あんどんの変更③組合加盟の印であるベルトライン(組合員と認識できる車体のライン)の使用停止一を迫られた**。全国商工団体連合会(全商連)に本件に関する情報が寄せられていたもの。(第3549号2023年4月3日付全国商工新聞「個人タクシー協同組合 免税業者排除の方針 「独禁法違反の恐れ」 公取委指摘 小池晃参院議員が質問」)

【ケース⑤ 「登録番号を提出しなければ契約更新しない」と通告されたケース】

軽貨物運送事業者のドライバーは、だいたい年間売上が360万円ですべてが200万円。簡易課税で消費税を計算すると18万円の課税となり、ほぼ1ヶ月分の所得が消える。毎日皆さんの荷物を一生懸命届けているドライバーが1ヶ月タダ働きになってよいのか。Amazonの下請からは**「インボイス登録番号を提出できなければ契約更新しない」**という通知が各個人事業主に来ている。**2024年問題もあるので、物流が止まってしまう。本当に貧困な人たちを作っているのか**。(2023年2月28日【建交労軽貨物ユニオン、建交労関東ダンブ協議会 業界ごとの訴え、独占禁止法違反の判定、個人情報漏洩の問題】 インボイス問題検討・超党派議員連盟によるヒアリング 第5回)

(5) 全国でインボイス反対の声はあがっていますが報道されません。

インボイス制度を問題視し、全国の 160 を超える自治体で、国へ向けた反対等の意見書が採択されています (2023 年 5 月 19 日現在)。国会でも野党を中心に質問でインボイスを取り上げる議員が徐々にですが増えてきました。また、我々が行っているインボイス制度に反対するオンライン署名も、20 万筆を超えました (2023 年 4 月 25 日現在) が、あまり大きくは報道されていません。

インボイス制度はまだ実施前にもかかわらず、すでに多くのトラブルが報告されています。また、登録した個人の本名や住所は表示されなくなったものの、プログラミングをちょっと知っている人であれば簡単に解読できてしまうなど、個人情報保護の観点からも大きな問題をはらんでいます。

インボイス制度で大きな打撃を受けるのは、このようなフリーランスや小規模事業者で、その多くはなんの後ろ盾も持たず、働き方も多種多様なため、実態が見えにくい存在です。でも、「見えにくい」と「いない」のは違います。

インボイス制度は「**税率変更を伴わない消費税の増税**」です。税の実務家である税理士も導入に反対しており、全国 15 ブロックある地方の税理士会すべてがインボイス制度に反対しています。それに加え、法人を中心にインボイス登録は進んでいるものの、対応の準備ができていない事業者はまだ 7 割ほど。請求書関連業務に従事するビジネスパーソンの 7 割近くの人が、インボイスへの対応に不安を感じています (Sansan 調べ)。また取引先への登録番号の確認は、法人でも 5 割、個人事業主ではわずか 1 割にとどまっています (マネーフォワード調べ)。にもかかわらず、今年 10 月のスタートが強行されつつあるのです。

今後も、インボイス制度を STOP させるべく、積極的に活動を続けてまいります。今後も私たちの「声」をメディアで取り上げてください。どうぞよろしくお願いいたします。

インボイス制度を考えるフリーランスの会
メールアドレス : stopinvoice2021@gmail.com

今後の”STOP！インボイス”な動きについてご紹介いたします。

(1) 5.12 「インボイスを止めるための＜全国お手紙リレー大作戦！＞」

5月11日、全国の地方議会にインボイス制度の問題点を伝えるとともに、地方議会から国会に対して「STOP！インボイス」の声を届けてもらうため、「インボイスを止めるための＜全国お手紙リレー大作戦！＞」と称して約1600の地方議会に向けて陳情書を投函しました。採択に向けて、全国の皆さんに向けて呼びかけてまいります。



(2) 5.27 リーディング公演「演劇大変！どうなるインボイス？」

インボイス制度を考える演劇人の会が主催となり、インボイスをテーマにした演劇「演劇大変！どうなるインボイス」（作・演出／丸尾聡）を上演いたします。

【開催概要】

■日時：2023年5月27日（土）14時／19時

（1ステージ約90分、短編作品2作品＋アフタートーク&交流会）

■場所：ペーパーバックスタジオ（東京都世田谷区・千歳烏山）

■チケット料金:1,000円：

(3) 6.20 インボイス反対街宣（インボイス制度について考えるフリー編集【者】と漫画家の会主催）

インボイス制度について考えるフリー編集【者】と漫画家の会が主催となり、漫画家を中心にインボイス反対街宣を開催。

【開催概要】

■日時：6月20日（水） 14時～

■場所：衆議院第二議員会館前

■ゲスト：安藤裕（元自民党 衆議院議員）・神田知宜（どんぶり勘定事務所代表）・他漫画家の先生方

■イベント内容：

14時～ライブドローイング（漫画家が反対のイラストやコメントをその場で描く）

17時～安藤先生、神田先生のスピーチ

その後、インボイス反対の声を国会に向かって叫びます。

ツイデモ同時開催・中継あり